

大阪府私学教育情報化研究会 情報アンケート 2004 集計結果

本年度も情報アンケートの回答にご協力頂き、有難うございました。昨年度は、郵送や FAX ではなく、Web からの回答が圧倒的に多かったため今回は回答方法を Web に限定させて頂きました。しかしながらシステム不備のために早い時期にご回答頂いた方々にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。以下に集計結果をまとめました。ご一読いただければ、幸いです。

今後も大阪私学の発展を願い「学校の情報化」に寄与できるアンケートを実施して参りますので引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【集計概要】

現在は、2005 年度末を目標に整備が進められている「教育の情報化」の過程に位置している。その基準は国のミレニアム・プロジェクトで示されているが、現状から判断すると大阪府下私学全体が設備面でその基準を達成するのは極めて困難であると予想される。教育の情報化を積極的に推進する学校とそうでない学校にかなりの格差が認められる。今後も益々この格差が広がることが懸念され、この種の学習環境が「情報活用能力の育成」に重大な障害となるのは必至である。

教科「情報」の実施に関して

「情報 A を 1 年生で 2 単位実施」が標準的な状況である。教科「情報」担当者は、他の教科を担当している場合も多く、教材研究や授業準備など教員の負担は少なくない。1 クラスの生徒数が多い学校では、教員の負担を減らすために、実習の際の補助教員の配置が求められる。

総合的な学習の時間に関して

昨年と同様模索状態が続いていることがうかがえる。一つの学年で複数単位を設定して実施している学校が少なく、本来の設置の目的に沿った学習活動が行える環境が整っているかどうか、今後各校で再検討が必要である。「総合的な学習の時間」の実施が、生徒の学力向上に結びつくような方向で実施されることが望まれる。

情報教育を実施する設備に関して

数量的な格差がかなり見られる。中高一貫校では、ほとんど施設が共用されているが、中高合わせてパソコン教室が 1 つしか設置されていない学校もある。クラス数にもよるが、教科「情報」や中学校技術家庭の「情報とコンピュータ」における実習時間が不足するだろう。またその状況では、他教科でのコンピュータ活用がますます難しくなる。これでは、文部科学省が目標とする生徒 5.4 人にコンピュータ 1 台を達成することは、大阪私学では、困難だと言わざるを得ない。

設備面の課題は、3 点挙げられる。第 1 点は、デジタルカメラや IC レコーダなど情報収集を行うための機器に関することである。生徒用のデジタルカメラを全く所有していない学校もあり、情報活用能力の育成には心許ない。第 2 点は、ソフトウェアの充実である。教科「情報」の内容を考えると画像編集や Web 作成のソフトが必要とされる場合が多い。費用面で導入が困難な場合、フリーソフトの活用を検討するとよい。ウィルス対策ソフトを導入していない学校も見られるが、現在のウィルス発生状況を考えると早急に導入すべきである。第 3 点は、普通教室の情報化である。普通教室におけるインターネット接続、コンピュータやプロジェクタの設置をさらに推進して情報化の恩恵を日常的に受けられる学習環境が、私立学校にも求められている。

生徒のコンピュータ利用に関して

生徒の自由な利用に対して制限を持たせている学校が多い。生徒にメールアドレスを発行している学校は、それほど多くない。コンテンツフィルタリングの導入や利用規程の策定なども今後の動向が注目される。設備の整備と並行してガイドラインの作成や施設利用の運用面での制度の確立が求められる。

教員のコンピュータ利用に関して

全教員へのコンピュータの支給や貸与が広がりを見せている。教員へのメールアドレスの発行は半数を超える学校が実施している。大阪府私学課の私立学校情報システムをはじめさまざまな情報や文書がネットワークを通じて流通するようになった。あらゆる立場の教員にネットワークの活用が求められているといえる。その一方で情報関係の設備の保守管理を教員に任せている場合もかなりみられる。情報関連の業務は、校務として見えにくいですが、継続的に新しい技術や知識の習得が欠かせないため、誰にでもできる業務ではない。従って一部の教員に過度の負担がかからないよう校務運営上、特段の配慮が必要である。また情報化への対応は、教員全体で取り組むべき問題であり、情報化推進組織の運営や教員研修のあり方を至急に再検討する必要がある。

携帯電話の利用に関して

利用マナーやさまざまなトラブルを懸念して、携帯電話を許可していない現状がある。従って校内への持ち込み、さらに校内での利用を許可している学校は少ない。しかし利用規程を設ける、電話番号を届け出るといった方法で、問題解決を図ろうという対応も見られ今後の動向が非常に注目される。

()内は昨年の回答数

1. 校種

高校	25
中高	28
計	53

課程名		学校数	回答校数
全日制	男子校	15(16)	9(12)
	女子校	30(30)	18(25)
	共学校	48(47)	23(33)
	計	93	50(70)
通信制		7	3(1)

実施学年	校数	%
1年	35	66%
2年	18	34%
3年	12	23%
1,2年	8	15%
2,3年	1	2%
1,3年	4	8%
1,2,3年	3	6%

(複数回答可)

2. 教科「情報」実施状況

科目	校数	%
情報A	49(61)	92%(85)
情報B	3(7)	6%(10)
情報C	5(14)	9%(20)
無回答	1	2%

(複数回答可)

免許取得者数	校数
1人	4
2人	9
3人	15
4人	4
5人	5
6人	2
7人	2
無回答	12

情報担当教員構成	校数
専任のみ	11
専任 + 他教科兼任	15
他教科兼任	14
なし	1
無回答	12

実習形態（校数）

クラス単位	45(64)	85%(89)
2分割	3(6)	6%(8)
その他	2(2)	4%(3)
無回答	5	9%

実習の補助（校数）

補助あり	27(37)	51%(51)
補助なし	22(35)	42%(49)
無回答	4	8%

補助の立場（校数）

教諭	18
実習助手	9
事務職員	1
派遣 SE 等	2
学生・院生	1
その他	1

3. 総合的な学習の時間（校数）

実施	39
未実施	11
無回答	3

単位数	校数
1	6
2	13
3	11
4	0
5	1
6	1
その他	1

実施学年（校数）

全学年	13
1・2年	11
2・3年	1
1年	6
2年	4
3年	1
その他	1
無回答	2

担当者（校数）

教科担当	19
担任	13
教科 + 担任	5
無回答	2

他校との交流学习実施（校数）

国内校	2
海外校	7
未実施	32

4. 情報教育設備

PC 教室数	校数	%
1 教室	18(30)	38%(42)
2 教室	15(29)	31%(40)
3 教室	7(10)	15%(14)
4 教室	4(3)	8%(4)
5 教室	1	2%
なし	1	2%
無回答	2	4%

平均 PC 教室数

高校	2.1
中高	1.8

・中高は 1 校を除き、共用している。1 教室のみの中高が 11 校ある。

・1 教室 45 台以上の PC を設置した教室を持つ学校が 30 校。

PC 教室内周辺機器

・ほぼ全ての教室でネットワーク・プリンタが複数台設置されている。モノクロレーザ・プリンタが主流である。カラーレーザ・プリンタの導入も、30 校で行われている。インクジェットプリンタの導入（24 校）も少なくない。全ての PC に 1 台ずつインクジェットプリンタを導入している学校が 1 校あった。

・スキャナーの導入は、36 校で行われているが、1 教室に複数台導入している学校は、12 校に留まる。

・ビデオプロジェクタが設置されていない PC 教室がある学校は 12 校。

・無線 LAN 接続の PC 教室を設置している学校は、8 校

PC 教室のコンピュータの形状（校数）

デスクトップ型	48
ノート型	10

・ノート型のみで教室を構成している学校は 1 校のみ。

教室内の PC 配置（教室数）

単一方向	34	37%
対向型	39	42%
グループ型	17	18%
その他	3	3%

生徒用デジタルカメラの保有（校数）

0 台	14
1～5 台	12
6～10 台	8
10 台～	2
無回答	17

生徒用 IC レコーダの保有は、1 校のみ 5 台であった。

可動式プロジェクタの保有台数（校数）

0 台	18
1 台	10
2 台	5
3 台	3
無回答	17

その他周辺機器の回答

- ・DVDプレーヤー
- ・ビデオデッキ
- ・レーザーディスクプレーヤー
- ・書画カメラ
- ・カードリーダーライター
- ・デジタルビデオカメラ
- ・タブレット
- ・可動式スクリーン
- ・電子ボード

生徒用導入ソフト（校数）

ワープロ	49
表計算	50
プレゼンテーション	46
データベース	27
画像編集	27
動画編集	9
Web 作成	28
統計処理	1
プログラミング	9
アニメーション作成	12
ウィルス対策	39
その他	7

その他導入ソフト

- ・英検対策ソフト
- ・料理レシピソフト
- ・システム復旧ソフト
- ・タイピングソフト
- ・音楽ソフト

「情報」以外の PC 教室使用教科(校数)

国語	7
数学	5
社会	5
理科	11
英語	20
保健体育	1
音楽	3
美術	4
書道	0
総合的な学習の時間	22
ホームルーム	10
その他	9

PC 教室以外の PC 設置台数

	図書館	その他
平均	4.1	4.1
最高	45	48
最低	0	0

その他の内訳

- ・進路指導室 12 校
- ・理科室，生徒会室など

PC 1 台当たりの生徒数

全体平均 15.9 人 / 台

最高 4.5 人 / 台

文部科学省目標値 5.4 人 / 台

授業外での生徒のコンピュータ利用 (校数)

自由	15
制限	35
無回答	3

生徒個人のコンピュータ購入 (校数)

あり	1
なし	49
無回答	3

あり：学科限定 (中 2 で購入)

生徒個人への PC の支給・貸与 (校数)

あり	2
なし	37
無回答	14

あり：コース限定，中学限定

コンテンツフィルタリングの導入 (校数)

あり	26
なし	21
無回答	6

今年度中の情報教育設備の追加更新 (校数)

あり	13
なし	22
未定	12
無回答	6

普通教室の情報化 (校数)

ネットワーク接続

有線	7	13%
無線	6	11%
なし	36	68%
無回答	4	8%

プロジェクタの常設

あり	1
なし	49
無回答	3

コンピュータの常設

あり	4
なし	44
無回答	5

ネットワーク接続が可能な教室等（校数）

教員室	45
校長室	36
保健室	20
進路指導室	40
理科室	13
音楽室	9
美術室	9
その他	14

その他の内訳
事務室(3)

教員へのPC支給・貸与（校数）

実施	11(19)
未実施	40(52)
無回答	2

メールアドレスの交付（校数）

生徒	0
教職員	25(25)
生徒+教員	9(19)

PC・ネットワークの利用規程（校数）

生徒	12
教職員	8
生徒+教員	10

管理職の電子メールの利用（校数）

校長	31
教頭	33
事務長	30

グループウェアの利用（校数）

生徒	0
教員	13
生徒+教員	3

リモートアクセスの利用（校数）

生徒	0
教員	6
生徒+教員	1

情報設備の保守管理（校数）

教員	44(54)
業者	21(22)
事務職員	10
その他	0(5)

上記担当者数（人）

平均	3.1
最高	15
最低	0

電算化している学務処理（校数）

成績処理	48
出欠処理	29
通知票	33
指導要録	19
入試処理	44
その他	8

その他の内訳
調査書(4)

情報化推進の校内体制（校数）

	情報化推進組織	校内研修	外部研修
あり	29(47)	18(30)	16
なし	21(25)	30(42)	32

・情報化推進の組織がある場合、平均5.9名の担当者がいる。

・研修内容は、オフィス系アプリケーションの操作、グループウェアの使用法、セキュリティ対策など。

・外部の研修参加では、本研究会の研修以外に、専門学校、教科書会社主催の研修がある。

ホームページの制作（校数）

	作成	管理
教員	29	34
事務職員	8	10
業者	22	11
その他	2	1

その他（作成）：卒業生，生徒

Web サーバの設置（校数）

校内	14
併設校内	7
ホスティング	24
その他	2

生徒の携帯電話の利用（校数）

	持ち込み	校内利用
許可	16	6
不許可	35	45

	利用規程	番号届出
あり	13	6
なし	32	39